



TITLE:

雜報 (超海王星發見記念號)

AUTHOR(S):

CITATION:

雜報 (超海王星發見記念號). 天界 1930, 10(110): 228-232

ISSUE DATE:

1930-05-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161530>

RIGHT:

各半年の平均速度に二倍弱の大差あるは、三角術計算に於ても力學的計算に於ても同値であります。

結 論

要するに本文は、キヤムベル氏數値に基き専ら地球軌道を計算したのでありますが、諸學者の觀測研究の如く太陽の向點運動線が黃道面に斜交しある限りに於ては；

“螺旋狀軌道を進行する地球の公轉平均速度は、太陽の向點運動の影響を受け半年間（半公轉週期）を界として遲速を生ず”

又之れと同様の意味に於て、同影響が諸遊星の公轉平均速度上にも現はれる事と考へられます。

希くは御教正を賜はらん事を。

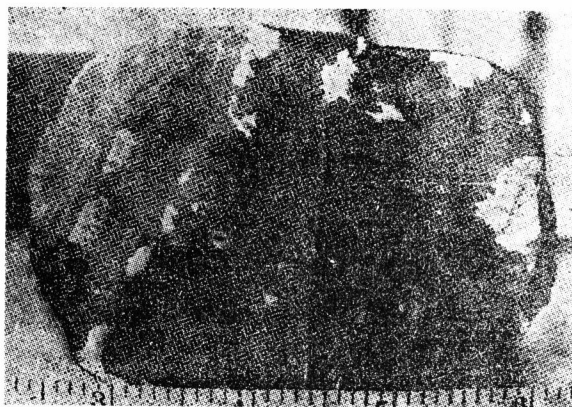
(25. X. 1929)

雜 報

稀有の隕石

慶北仁同に墜落

慶北漆谷郡仁同に幼兒頭大程の隕石墜落せる稀有の出來事あり、去る十九日午後四時頃仁同郡仁同面玉溪洞の鮮童が麥畑に遊び居しに、非常な音響を立て、天より墜落しドシンと大地に地響をして一尺程埋沒せるものあり、鮮童は餘りの響きに恐れ泣き叫びて附近の黃致碌方に逃げ込みたれば、黃は何事ならんと委細を尋ね乍ら現場に行き見れば、地底深く黒燒せし小兒頭大の花崗岩のありしかば、さして氣にもせず自宅に持ち歸りたるに、之れが近所の評判となり種々の風説を生みつゝあるを耳



にせる倭館署では事實調査の結果、疑ひなく隕石の墜落と判明し二十二日早速警察部に報告したるに隕石は普通流星と稱する物にて太陽系内を迷ひ天空に懸てゐるものが地球の回轉するとき偶々地球に近くや非常なる強さにて地球の引力に引付けられ直徑二十哩餘の空氣中を墜落する摩擦にて如何なる大石も空中三四哩の地點迄に燒失するものにて形狀を存して地中に墜落するは誠に珍らしき事にて眞に稀有の現象である。右隕石は厚さ七センチメートル、幅八センチ、長さ十二センチ、ほぼ兩手拳の合はせた位の大きさで重量三百五十五匁のもので、落下するときは玉溪洞の隅々まで響き渡るやうな異様なうなり聲を發して、地下一尺位埋沒した。

重量約四百匁あり、シツトリ重く表面煤黑色を帶び墜落の際摩擦燒跡ありて筭の如き模様あり、内部は青綠色を帶び高熱の爲め脆くなりやをれど、學術上珍重すべき參考品にて警察部では本府に送り鑑定する筈なるが、目下慶北道廳に保管中であるが、近く恩賜科學館に陳列保存せられることになるだらう。

(朝鮮新聞)

京都帝國大學天文學教室の講義科目

教授	理學博士	理學士	山本一清	擔任
天体物理學			1年間	每週講義2時間
太陽物理學			半年間(十一月から三月まで)	每週講義2時間
近世天文學史			〃 (四月から十月まで)	〃 2時間
天文器械學				
幾何光學				
特殊研究觀測				

教授	理學博士	理學士	山本一清	} 擔任
講師		理學士	上島 昇	
天体觀測第一部			1年間	每週講義1時間, 演習1回
天体觀測第二部			〃	〃 〃

助教授	理學士	百濟敬猷	擔任
天文學總論		1年間	每週講義2時間
天体力學	〃	〃	3時間
軌道論	〃	〃	2時間
天体力學特論			
球面天文學特論			

助教授	理學士	竹田新一郎	擔任
誤差論		1學期間(四月から七月まで)	每週講義2時間
計算法		2學期間(九月から三月まで)	每週講義2時間, 演習1回
宇宙物理學		1年間	每週講義2時間, 演習
統計天文學			

講師	理學士	上島 昇	擔任
球面天文學		1年間	每週講義2時間

擔任者未定

東洋天文學史

學生受講の一例範例

…… 但し必須學科のみ ……

- 第一年 天文學總論，誤差論及計算法，天體觀測第一部，
微分積分微分方程式，力學(第1部)，熱學，
物理學實驗第1部
- 第二年 球面天文學，軌道論，天體物理學，
天體觀測第2部，力學(第2部)，光學，
電氣磁氣學第1部，物理學實驗第2部
- 第三年 宇宙物理學，天體力學，特殊研究觀測

東京帝國大學理學部天文學科課程改正要旨

—〔昭和五年三月十四日官報より〕—

天文學科 (1)必修科目

球面天文學及最小二乘法	一年間	每週三時	
軌道論	半年	〃	二時
天體力學	一年	〃	三時
實地天文學	一年	〃	二時
天體物理學	一年	〃	一時
曆の計算演習	一年	〃	一回
天體觀測(第一)	半年	〃	二回
天文學講究又は實地研究			
微分積分學	一年間	每週三時，演習一回	
力學(質點，剛體，流体)	一年	〃	四時 〃 一回
一般物理學	一年	〃	三時
光學	一年	〃	二時

(2)選擇科目 (下記の中、三科目以上)

物性論及熱學	一年間	每週二時
電氣磁氣學	一年	〃 三時
物理學實驗(第一段)	一年	〃 二回

物理學實驗(第二段)	一年間 每週二回
物理數學	一年々 々 四時, 演習一回
天體觀測(第二)	一年々 々 二回
代數學	一年々 々 二時, 演習一回
幾何學	一年々 々 三時, 々 一回
函數論	一年々 々 三時, 々 一回
微分方程式論	一年々 々 三時
確率及統計	一年々 々 二時

(3)参考科目

一般天文學, 太陽運動論,
 天體力學特別講義, 地震學,
 地球物理學, 氣象學,
 相對律, 幾何光學,
 原子構造及量子力學, 物理學に於ける統計現象,
 彈性論及音響學,

急	告
---	---

この頃のやうに、天文界が多忙を極め、會員諸氏に大急ぎで御知らせしたい事が澤山ある時に、僅か一ヶ月に、一回の「天界」誌上では到底だめで、間に合はないことを痛感します。それ故、本會では、ハガキ形の「天文急報」なるものを發刊し、一般希望者に、實費で御分ちすることとしました。

費用は、當分のうち、一ヶ月金15錢(又は一ヶ年分金壹圓)とします。

至急御申越し下さい。

第一號は六月初旬に出します。平均毎月二三回の豫定です。